

由 建

平成20年10月10日

国土交通省道路局長 様

由仁町長 竹 田 光



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記の件につき、別紙のとおり報告します。

(建設水道課 土木・建築担当)

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道由仁町

道路特定財源等について、「道路特定財源等に関する基本方針」が平成20年5月13日に閣議決定され平成21年度から一般財源化されることになるが、北海道においては特に地方部にあっては公共交通機関が不十分でほとんどが交通手段として自家用車を利用している中で道路整備が十分とはいえない状況にある。

また、高度経済成長時期に建設された道路、橋梁等の老朽化による更新時期を迎えることから、新たな道路整備はもとより既存の施設の効率的な改修等の対策も今後ますます増えていくことから地方のため道路財源確保に、より一層努めてほしい。

特に道内の主要国道であり産業の物流を輸送する道路として交通量の多い国道234号線については、早期に4車線化の実現に努めてほしい。

環境の保全と豊かな生活環境の一環として、町や地域住民が一体となり、歩道や歩道内に設置された植樹柵等の環境美化清掃作業を行っており、その事業に対し北海道開発局は補助等の支援を行っていることから、地域活動が一層活発になっている。このような活動は国道の管理を住民が行うという姿勢であり管理区域を広げるために今後も事業支援を継続してほしい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道由仁町

○現状 ・財政難により必要な道路整備が行えない。 ・財政難により既存の道路施設の維持補修が困難である。 ・財政難により土木担当者が減少している。	○課題 ・地震、豪雨、豪雪等の災害に対応する道路整備。 ・道路環境及び地方の経済活性化。 ・既存の道路、橋梁等の長寿命化対策。 ・維持管理に要する財源確保。
---	---

②-2 地域の目指すべき将来像

北海道由仁町

恵まれた地理的条件、優れた地域特性を最大限に活用しながら、都市圏との道路交通ネットワークの形成に努め、魅力ある田園都市としての位置づけを確立させ災害を重視した道路整備及び防災対策等の道路整備を主体とし、安心・安全な暮らしを確保できる社会資本の整備に努める。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

北海道由仁町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・交通渋滞の緩和	・国道234号線の4車線化	・観光シーズンにおける慢性的な渋滞の緩和	
・道路の防災対策	・道路の改良整備や橋梁等の耐震補強	・災害時における交通網の確保	
・住民による道路管理	・一般国道の歩道や歩道内に設置された植樹 樹等の美化清掃作業	・春から秋まで、国道沿線の住民による 美化清掃作業により歩道等の管理 と花で通行者を癒す ・地域コミュニティに役立つ	